

## 令和7年度 第2回お互いさま推進協議会 議事録

- 1 開催日時：令和8年2月12日（木） 午後6時30分～午後8時5分
- 2 開催場所：二宮町役場 第1会議室
- 3 出席者：依田会長、石黒副会長、山下委員、田中委員、高橋委員、野谷委員、上田委員、中村委員、瀬田委員、石川委員、小椋委員、杉山委員  
欠席：春木委員、大岩委員、遠藤委員  
事務局：副町長、福祉部長、高齢介護課長、  
高齢介護課高齢福祉班長、  
高齢介護課高齢福祉班員（3名）
- 4 議題
  - （1）地域の協議体について
  - （2）認定ドライバー養成研修について
  - （3）その他

### 5 議事録

#### 1. あいさつ

事務局

令和7年度第2回二宮町お互いさま推進協議会を開会いたします。委員の皆様におかれましては、ご多忙のところ、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。早速はじめさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

初めに、渡邊副町長より、ご挨拶をさせていただきます。

副町長

皆さんこんばんは。毎回有意義な議論をありがとうございます。私たち、行政だけではなくいろいろなところでどうやっていくかという時に、今日も議論の1つにありますが、移動スーパーについて、1つのソリューションとしては、買い物に出かけるためにどうするかという話がこれまでありましたが、逆に来てもらうという考え方もあると思ってい

ます。画一的にこういう施策だけでということではなく、多様性に応じていろいろな選択肢が広がってくるような形の考え方がすごくよいと思うので、皆さんの意見も参考に伺って、今後を考えていけたらと思っています。よろしくお願いいたします。

事務局

続きまして、次に配布資料の確認をさせていただきます。

(資料の確認)

次に傍聴についてです。会議及び会議記録の公開に関する取扱要領により本日の協議会の公開について、委員の皆さまにお諮りいたします。本日の会議を公開することで、公正かつ円滑な審議が著しく阻害されるおそれは無いと思われまます。よって、本日の会議は公開したいと思いますが、委員の皆様いかがでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございます。本日の傍聴は2名です。それでは議題に入ります。会議の進行につきましては、依田会長にお願いしたいと思います。

会長

協議会の回数が少ないので、まず自己紹介を先日の雪の日のことも含めてしていただきたいと思います。

(各委員 自己紹介)

会長

ありがとうございました。災害対策は皆さんでいろいろと苦労されている部分はあるかと思いますが、雪というのは随分久しぶりの大雪でしたので、これからは、ある程度考えていかなければいけないのかなと思いました。

## 2. 議題

### (1) 地域の協議体について



に、できればその展開したいと現在考えています。基本的な情報としましては1週間、月から金で町内各地域を最大で60ヶ所くらい回る予定です。まずは週4日で、スタートする方向で現在進めております。残り1日は、これからの地域のニーズで、場所が増えたり変わったりというところで、事業所の方が対応できる範囲で対応することを考えております。今後、仮のルートができましたら、各地域の地区長さんに投げます。しかし地域の方の地区長さんがすべてを把握するわけではないですし、このような各地区の協議体であるとか、もしくは社協の地区社協部会で、情報提供させていただいて、まずは形にしていくところに、ご意見等あればお願いしたいと思っています。始まってからも様々なご意見に合わせて、ある程度変更していかなければならないと思っておりますので、より効果的なものとなるようなご意見があれば、ぜひお願いしたいというところで、現在進めております。資料に載っているところもありますが、実際には軽トラックが、500品ぐらい乗せて回ります。また一品あたりの手数料は税込11円なので、かなりリーズナブルだと思います。現在も同じような形で販売しているところがいくつか地域であると聞いてございます。現在やってもらっている方と、競合しないようにとか、うちの地域はちょっとそういった部分困りますとか、そういった意見もまとめて進めたいと思っております。マックスバリュの方は、資本も大きいので、売り上げの部分よりも、福祉的な要素で回りたいというところがあるので、1回始めてしまっていけば、撤退ということは基本的に考えていないというところだと思いますが、実際全然お客さんがいないところがあれば別の場所に変えていくとか、現在やっているところは、おそらく個人のお宅に回るような形でやっているとしますので、今回のマックスバリュは、一定の場所に行ってみなさんが買いに来る、スーパーとかコンビニまでは行けないけれども、そこに来てくれるなら、買い物ができることで困った人が救われるような選択肢が、増えるところを目指しておりますので、その辺は趣旨をご理解いただいて、皆様のご協力をお願いしたいというところでございます。

会長

移動スーパーに関する町からの説明でした。第2層協議体の意見報告という資料がありますが、その資料の1の下から3

行目に、本事業は単なる移動販売ではなく、買い物機会の確保に加え、外出機会の創出や見守り機能の一端を担う生活支援の仕組みとして位置付けているということですが、それも含めて、最終的には地区でまた提案がくるということですが、今日の場合は、フリーの形でいろいろな意見をいただければと思います。この件について、皆さんのご意見いかがでしょうか。

委員

今とくし丸というのが移動スーパーで回っているのですがそれとは被らないのですか。これはこれで進めていくということですか。

事務局

実際の名前は控えたのですが、とくし丸さんが実際にはやっていて、とくし丸さんはしまむらさんからですね。契約の中でその契約方式も細かくはまだ把握できないのですが、いずれにしても地域の方から、現在も幾つか回ってもらっていて、その人たちを、競合ではじき飛ばすようなことはしたくないというところがあるので、それも含めて我々としては、そのマッピングに落とすところで、ここはやめてくれとか、それを考えながら、あくまでも別物として進めていきます。競合は避けたいということです。

委員

要望のようになりますが、この見守り活動は、お買い物に来ている方を見守っていただく中で、例えば、いつも同じものを何個も買うとか、心配な方に出会った時に、包括支援センターとかに連絡をしてくれる仕組みがあるとありがたいと思います。

事務局

町とマックスバリュと社協と3者協定をする形になってまして、委員が言われたような形で、連絡をもらう先というところも明確化していくような形をとるよう、また社協も含めて検討していきたいと考えています。

委員

詳しくは知らないのですが、とくし丸さんは、民間のスーパーがやっており、実際にここでお願いしたいと意見が出た場所があるのです。ところが、多くは場所を広げられないと、1ヶ所に何人来て、利益を換算したときに、ここではできないと

というのがあって、実際に開けない場所が何ヶ所もありました。今回のお話を聞くと、そういうことではなくて、ある程度場所とその利用件数とかの見込みとかいろいろなことがあった時には、積極的に回ってくださるようなことが、設定できるということですね。

事務局

そうですね、マックスバリュの方も、当然、商売でもあると思いますが、事業全体で見ておりますので、売り上げがよいところだけ回りたいということではなく、始めたところが2名だから回らないということでもなく、あくまでもニーズに合わせてなるべく対応していきたいと考えています。

副町長

とくし丸の実際の運営は、全国チェーンですが、いわゆるブランドだけで個人でやるところで、そのビジネスが成り立つかどうかというところで、結構制限があるのではないかと思います。おっしゃる通り一方で今回の話は、大きな会社の中で展開するからやり方がというのと、社会貢献の考え方もあるので、選択肢が増えていくのはありがたい考え方かなと思います。

会長

とくし丸はスタートが徳島ということらしいですけども、社会貢献ということも掲げてやっているの、その点では、中身としては違うかもしれないけど、目的としては同じようなのかなと思います。ただこれが商業ベースだけでなく、生活スタイルに合わせたお買い物の手法の1つというふうに考えたり、見守りという活動も含めてやるということなのですが、それについて何かありますか。

委員

的外れかもしれませんが、気になったのが、売る場所を町としてある程度あつせんするのですか。どこまで、町が関与しているのかよくわからなくて。

事務局

一番デリケートな部分ではあるのですが、町は最終的には今回の巡回ルートの中で、最初の方に町の施設内、1ヶ所につき15分ぐらい回っている中で、始める前に販売場所を確定するのは難しいので、まずその巡回の中で、町の施設があれば、



もらっていると思うのです。今後も、地域の要望で対応していかないと、よい業者さんばかりではないので、何かトラブルに巻き込まれてしまう可能性もあるので、そのやり方は変えないでいただいた方がよいという気がします。

事務局

今ありましたように、地域の要望をメインに進めていく考えです。今後変えるときも、個人のレベルでは基本的に対応できなくなってくるので、地域の方のある程度の総意というか意見を加味しながら、町としても対応していくことを考えています。

委員

その地域の要望というのは、例えば町内会などで要望するのですか。

事務局

町としてお話できるのは、地区長連絡協議会というところで地区長さんにまずお話を振って、今後仮の巡回ルートについても、地域がどこならよいというところを、確認しながら進めていきます。その際、地区長さんの方には、可能な範囲で聞いていただいて、それでまず始めて、実態に合わせて変えるときにもまたその地域の方に、地域の回覧等を含めてニーズ把握をし、地域と事業所主体で進めていただくというところ です。入口は地区長さんですが、場所であるとか、地区社協部会の方でも話をさせていただいて、地域が決めるときに、できれば一緒になって意見を出して欲しいと思っております。

委員

先ほどの委員の話と少し重複するのですが、川匂の方でも要望がありました。個人でもよい、とにかく会員になってくれて、場所提供ができればということで、そのような広いお庭があがって確実にできますというところが、一時すごく増えたのです。しかし、川匂地区は、回り切れませんと言われて結局そこから外れたのです。確実にまとまって買ってくれればいいけれど、毎回そうとは限らないと、回るのに精一杯ということでした。場所について、川匂は意外に広く、1軒1軒が集まっている場所も少ない。そうすると、地域の1ヶ所でも中には、そこにも行けない人も出てくるという現状が二宮のあちこちであると思うのです。だから地域の中でもどこが一番よ

いのかと決めるのが、まず第一段階で結構大変かなとただ、外れたところで実際にお買い物で困っている方がいらっしゃるから、これが現実になれば大変うれしいと思います。

事務局

町の方が全体を把握する中で、包括とか社協の方に聞いていますが、やはりそういった地域の実際の実情が反映されることというのが、非常に大切だと思っております。その部分で、各地域の方に、その要望という形で、選択肢がまだ増えるというところで、あとは実際に他に要望がなくて、細かく回れる件数があればそちらにあてがうとか、それも最終的には、事業所の方と地域の調整になってくると思います。

委員

本筋から少し外れるかもしれませんが、1つ気になっているのが、これはマックスバリュさんから話があったではないですか。他の業者からも、働きかけがあったときに、どういう仕組みでどうやっていくのかというのを、ある程度立てておかないと、よくわからないことになってしまうのではという気がします。立ち位置というか、立て付けをうまくやっておかないと、後々状況の変化に応じてトラブルになる可能性があると思います。

会長

例えば、とくし丸さんの方で、マックスバリュさんと同じような要望があった場合は、同じように扱うということなのですか。今と同じで、公平性とか競争をするのは、ある意味でよいとは思いますが、そこで見守りとかいろいろ組み合わせられる場合は誰でもよいというわけでもないのかもしれない。だからその辺が商業ベースというか、そういう部分と、公的にこういうことを関わりたいという部分の、マッチングというか、その辺がはっきりしていないと思います。

委員

法律的な面も多分あると思うのです。その辺は私も完全にわからないのですが、うまく整理しておかないと、後々面倒になるのではないかとあって、すごく気になりました。

委員

極端に言えば、今こういうお話がきています、他の業者さんでも移動販売をしてくださる方というのを、町が全体的に広

く公開してからこの業者に決めないと、よくないですよ。町が関与する場合はそうしていかないと。

副町長

町はあっせんするとは全く言ってなくて、こういう話があるので、地域の要望としてニーズがあるのか聞いているという形でしかないのです。一番、私たちが考えないといけないのは買い物支援。そういった意味で、広く募集するとなると、具体的にどのような手段とするのかという議論にもなる。おっしゃることは重要なことですので、整理は必要だと改めて思いました。ありがとうございます。

会長

買い物の手段が増えたり、見守りをするということは必要だと思うので、提案という形であるとしても、公的な立場、行政の立場として、どういう形に関わるかということについて、いろいろ意見が出されたと思います。その辺は、もう1回確認していただくということで、よろしいでしょうか。いろいろな意見どうもありがとうございました。

次に、たんぼぼささえたいとクローバーの笑・和・輪の報告について、杉山さんお願いします。

(資料:移動スーパーに関する第2層協議体の意見報告に基づき説明)

会長

ありがとうございました。各2層の協議体で補足等がありますか。よろしいですか。

では(2)認定ドライバー養成研修について、事務局の方で説明をお願いします。

## (2) 認定ドライバー養成研修について

事務局

資料2をご覧ください。

(資料2:認定ドライバー養成研修 に基づき説明)

会長

前回のときも話題になりましたが、資料2の裏面に、これまでの主な受講理由があり、地域貢献ということで、受講した方は何かやってもよいという方が多かったというふうに思いま

す。これは互助型といいですか、地域でのニーズ、昨年度の1層2層の協議会の中でいろいろニーズはあるということが出ましたが、それが形としてまとまっていないというのが現実かと思います。地域のニーズということで皆さんの情報の中でありましたら、お聞きしたいと思います。移動、買い物であるとか、通院であるとか。買い物も、先ほど移動スーパーの話がありましたが、どうしても自分で行きたい、選びたいということも、ニーズとしてはあるのかと思います。その辺のニーズに関する情報というのは皆さんの方で何かお持ちでしたら、ぜひお聞きしたいと思います。互助型として、富士見が丘ほほえみの会さんでやっています。あと、通いの場の送迎をいちふくさんの方でやっていますが、具体的にはどの団体がやっているのですか。

委員

一色です。地区が広くまたバスの便も少ないので、通いの場に通うのにやっています。料金とかは何も取っていないようで、この講習を受けて、運転技術を習ってそれで送迎しています。

会長

私の知っている範囲で、組織的にやってるのはこの2つとありますが、他にやっていますか。

委員

うちの地区で個人でやっている方で、ちょこっとさんがあります。予約で、毎週ほとんど入っているみたいなので、今いっばいだよというお話でも、時々看板が出ていてお手伝いしますということもあります。

会長

お1人でやられている、この講習の修了生ですね。

委員

そうです。病院の送迎が多いみたいです。すごく重宝されており、皆さん利用されているみたいです。

会長

お1人でやっているの、なかなか展開できないということは、お聞きしています。ニーズという意味で委員の方で何かニーズはきていないですか。

委員

移動に関してニーズといいですか、包括の方でもいただく

ことは多いと思います。先ほど移動スーパーでもありましたが、やはり実際店舗に行って買いたいという方が多いので、ただ最近タクシーも高いですし、バスをうまく利用しながら行かれているところももちろんあると思いますし、近所の方の助け合いで行ってらっしゃるといことも聞かれていますので、移動支援という意味では、ニーズは結構あるのではないかと考えています。

会長

本当にニーズがあるところで、1人で対応するというのは、なかなか難しいので、やはりグループでやってみようかというような形にならないと、実際にはなかなか動き出せないのかなと思います。例えば、お隣の方がちょっと行きたいからと言ったら、じゃあ、行ってあげるよとそういう共助的なものと、なかなか頼みにくい部分というのがあると聞いています。ですから、料金にかかわらず、グループでやっているという形がよいと思いますが、ほほえみの会さんは今結構件数はありますか。

委員

病院の付き添いのドライバーをやっている方が4人くらいいらっしゃいます。登録されている方はもう少しいらっしゃるのですが、50代とか現役世代の方はお忙しいので出番はあまりないです。普段やってくださっている60~70代くらいの方4人くらいは、病院の付き添いに特化している方と、月1回のお買い物ツアーという7人乗りくらいの車で行くのですが、それに特化している方とか、あと富士見は丘1丁目から施設に生活に移された方を送迎している方とか、役割が明確になっております。病院付き添いが少し増えたと思うのですが、施設に行かれたり、亡くなられたりとかしてやはりこの6年間、メンバーも大分変わられてきています。お買い物ツアーは、最初の頃は5、6人いらっしゃったのが、今は1人いらっしゃるかどうかわかすけど、続けています。

会長

お買い物は他の手段が探せるけど、病院の場合は、なかなか他の移動手段がないので、そういう方は本当に1人でも2人でもニーズがあれば、大事にしていかなければいけないと思います。そういうニーズがあれば、町の方に情報を入れていた

だければと思います。先ほどの移動スーパー等、ある意味では関連してくるので、何かのときに地域の方に、情報を提供してもよいのかなと思います。事務局の方で何かありますか。

事務局

移動支援について、この辺りだと秦野市が結構多いです。冊子の14ページ、この辺がスモールで行っており、人数は少ないのですが、自治会単位で困った人を支援したいと自分たちで活動しています。そういった部分も参考にさせていただけるとよいと思います。具体的に何かやってみたいよというような相談がありましたら、我々もバックアップしながら一緒に考えていきたいと思います。ほほえみの会さんとも、一緒にやってきた経緯がありますので、漠然と困っている人もいるよねというよりも、自分たちで何人かいる人のニーズをどうしていこうかと、互助型の活動として生み出していくことができると思っています。いろいろな移動手段があって、この互助型というのは介助が必要ではない人で、介助が必要な方は福祉有償運送など他の形態での移動支援を考えていくことになると思います。

会長

資料の28ページに外出支援事業創出までのプロセス例があります。まずステップ1、ステップ2あたりを皆さんの情報から集めていただいて、何かあれば、町の方に相談ということでよろしくお願ひしたいと思います。その他、皆さんの方から特になければ、これで事務局の方にお返ししたいと思います。ありがとうございました。

事務局

ありがとうございました。資料のその他ということで、令和8年度二宮町生活支援体制整備事業の予定表になります。来年度も年2回の開催を予定しております。第2層協議体の方は、年3回から4回くらい入れていきたいと思います。またその辺は社協の杉山さんの方から、今日お越しの皆さんを含め、ご連絡させていただきますのでよろしくお願ひします。

副町長

気になって調べたところ、とくし丸さんが既にやっていることを考えると、必ずしもその既得権益を守るということもできなくなるのではないかと思います。そうなるという

いろなことを検討しなければいけないと思いました。重要なことでした。ありがとうございます。

事務局

これにて第2回二宮町お互いさま推進協議会を閉会いたします。どうもありがとうございました。

閉会 午後8時5分